

# ホクコーラブサイドジョーカーフロアブル

■種類名：シラフルオフェン・フサライド水和剤  
■有効成分：シラフルオフェン-----5.0%  
                  フサライド-----12.0%  
■PRTR法指定物質：フサライド【第1種】-----12.0%

■登録番号：第20155号  
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)  
■登録初年：1999.02.08  
■性状：類白色水和性粘稠懸濁液体  
■有効年限：2年  
■包装：2ℓ×6缶(地域限定)

## 【特長】

➢ いもち病防除剤ラブサイドと殺虫剤ジョーカーとを混合した無人ヘリコプター散布用薬剤。

## 【適用内容】(2015年10月末日現在)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シラフルオフェン を含む農薬の 総使用回数	フサライド を含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	4倍	800ml/10a	収穫14日 前まで	2回 以内	無人ヘリ コプター による 散布	2回以内	3回以内

## 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤は長期間貯蔵しておくことと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にもどしてから所定量を取り出すこと。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布すること。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
  - ◆ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
  - ◆ 散布終了後は次の事項を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に適切に処理すること。
    - ② 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布器具、容器等の洗浄水及び薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。

## 【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 無人ヘリコプターによる散布の際は農業用マスクを着用すること。散布後はうがいをする。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
  - 無人ヘリコプターによる散布で使用の場合は、飛散しないよう得に注意すること。
  - 散布後は水管理に注意すること。
  - 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。